

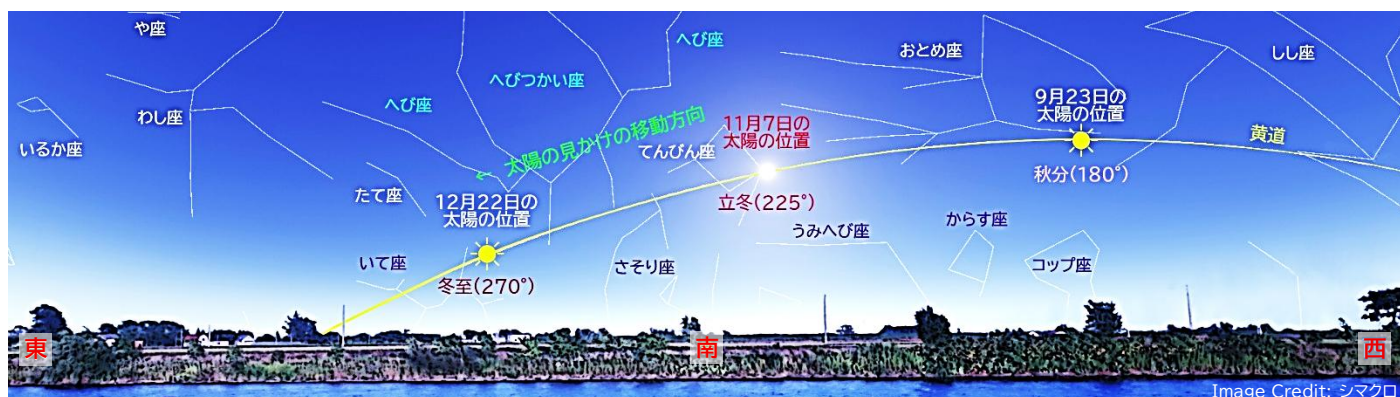
天文台発 ぽらりす

《2026年11月号/毎月初めに天文台職員が情報発信します》



冬の始まり ☆☆☆

俳句で使われる季語は7つに分類されており、その1つに「天文」があります。11月の天文に関する季語は初霜、初冬、初雪、冬風など冬を感じさせるものが目立ちます。ちょうど11月7日に太陽が秋分点(太陽黄経180度)と冬至(太陽黄経270度)の中間にあたる黄経225度の位置を通過します。国立天文台の令和8年暦要項ではこの日を「立冬」としています。宵が深まる頃に冬の天の川が昇ってくる季節になりました！



銀河鉄道の夜 冬の星座線 (星の花輪)

今回の銀河鉄道の夜は、「冬の星座線」の始発駅がある**ぎょしゃ座**を記載します。今月は21時頃、ほぼ真上にカシオペア座が見えるので、この星座と東の地平線の間付近にある**ぎょしゃ座**の**カペラ**をすぐに見つけられるでしょう。天の川は、秋の星座のカシオペア座方向から冬の星座の**ぎょしゃ座**へと流れています。**ぎょしゃ座**の五角形は、よく将棋の駒に例えられますが、この五角形を冬につながるトンネルだとしたら**カペラ**はさしあたりトンネルの入口に設置された信号灯でしょうか。黄色っぽく光る**カペラ**は、「冬の天の川はとても淡いので見逃さないように！」という注意信号なのかもしれません。冬の天の川は、星々が密集している銀河系中心と反対方向にあるため夏の天の川のようにぼんやりと白く見えませんが、光害が少なく気象条件が良ければかすかに見えます。ちなみに**カペラ**を「信号灯」と表現しましたが南国ハワイでは「星の花輪」と呼ばれていたようです。**カペラ**より**ぎょしゃ座**の五角形の方が「星の花輪」に見えませんか？ (By シマクロ)



☆11月の夜間公開(予約は不要です。公開時間内にお越しください。)

6日(金)～8日(日) 18:00～20:00 土星・秋～冬の星座

20日(金)～22日(日) 18:00～20:00 月・土星・秋～冬の星座

☆休台日は2日(月)、9日(月)、16日(月)、24日(火)、30日(月)です。